



Taka Ishii

Gallery

1-3-2 5F Kiyosumi Koto-ku Tokyo #135-0024, Japan  
tel 03 5646 6050  
fax 03 3642 3067  
web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)  
email [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com)

## 登山 博文

会期：2013年4月27日 - 5月18日

会場：タカ・イシイギャラリー（東京・清澄）

クロージング・レセプション：5月18日（土）

タカ・イシイギャラリーは4月27日から5月18日まで、登山博文の個展を開催いたします。1967年に福岡県に生まれた登山は現在名古屋を拠点に活動し、これまであいちトリエンナーレ（2010年、名古屋）や「放課後のはらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち」愛知県美術館・名古屋市美術館（2009年、名古屋）などに参加。タカ・イシイギャラリー初個展となる本展では、新作のペインティング作品約10点を発表いたします。

### 線をひく

絵の具が絵の具以外の質にならないように、すでに描かれた途中の絵におさまり過ぎず表面からは浮き過ぎず、攻める姿勢をもって、景色の中の電線ほどには人工的にはならず、伸びやかにしかし大味にならないように、細心の注意をもち大胆に無理やりに、早くひかれて見えるようにゆっくり描き、ひかれることでリズムになるように、きわを整えず、その絵に必要な階調の色で、調子がからっとなるように、欲を持たず、はやく、すでにひかれた線の途中を見ないようにしながら、そこで描き手が変わったみたい、これまで描いたことのない線で、そのときはなにも考えないで。

2013年3月 登山博文

登山は愛知県立芸術大学卒業後から一貫して、線や面、色彩などの造形要素や、それらの描き方や描く順序などを手がかりとして、また規範として、絵画の生成過程そのものに向き合ってきました。線が意図を帯びないよう、ブラインド・ドローイング作品を制作するなど試行錯誤を繰り返す登山の姿勢は、絵画を何らかのツールとしてではなく、絵画そのものとして成り立たせようとするものとも言えるでしょう。こうして、仕上げるのではなくでき上がる絵画には、描くという行為そのものが現れるかのようです。探求の幅をいっそう広げつつある登山の最新作を、是非この機会にご高覧ください。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

プレス担当:増山貴之

タカ・イシイギャラリー

〒135-0024 東京都江東区清澄 1-3-2 5F tel: 03-5646-6050 fax: 03-3642-3067

e-mail: [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com) website: [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

営業時間:12:00-19:00 定休日:日・月・祝日



「隅」2013年

アクリルウレタン、麻布

119 × 96 × 3.3 cm

"corner", 2013

acrylic urethane on canvas

119 × 96 × 3.3 cm



「層」2012年

アクリルウレタン、麻布

121×100.3×3.3 cm

"layer", 2012

acrylic urethane on canvas

121×100.3×3.3 cm